



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月10日

上場会社名 ユニオンツール

上場取引所 東

コード番号 6278 URL <http://www.uniontool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 片山 貴雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 片野 秀雄

TEL 03-5493-1017

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	4,994	—	776	—	732	—	475	—
27年12月期第1四半期	5,450	17.6	916	52.2	931	35.1	1,013	100.8

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △1,224百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 2,252百万円 (4.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	27.16	—
27年12月期第1四半期	52.49	—

(注) 当社は27年12月期より決算期を11月期から12月期に変更いたしましたので、前期と当期で第1四半期の対象期間が異なっております(27年12月期第1四半期は平成26年12月1日から平成27年2月28日まで。28年12月期第1四半期は平成28年1月1日から3月31日まで)。よって、28年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	51,034	48,009	94.1	2,759.11
27年12月期	54,305	50,277	92.6	2,860.35

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 48,009百万円 27年12月期 50,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	22.00	—	33.00	55.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年12月期の期末配当金には特別配当10.00円が含まれております。

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	—	1,300	—	1,400	—	1,100	63.12
通期	21,500	—	3,600	—	3,800	—	2,800	161.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度(平成27年12月期)は決算期変更の経過期間であるため、平成28年12月期の対象期間は前期と異なっております。このため、対前期増減率等は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期1Q	20,788,590 株	27年12月期	20,788,590 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期1Q	3,388,132 株	27年12月期	3,211,197 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	17,522,284 株	27年12月期1Q	19,316,672 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
4. 補足情報	8
(1) 部門別の状況	8
(2) 海外売上高	8
(3) 為替換算レートと為替変動の影響試算額	8
(4) 設備投資、減価償却費および研究開発費の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年1月1日より3月31日)においては、世界経済の後退懸念の再燃から先行き不透明感が広がりました。当社グループ業績に関連深い電子機器工業界では、長らくスマートフォン製造関連、高速通信インフラ整備関連および自動車関連への依存を強めておりましたが、その内の1つであるスマートフォン関連向け需要の停滞が顕著となっております。

当社グループは、年初からこのような厳しい状況になることを想定し、昨年中に需要の掘起しや在庫調整などを進めました。このことから、厳しいながらも動きが出ている高速通信関連、自動車関連需要でのブランドの浸透が図れたものと思っております。

当連結会計年度は、「新たな収益基盤の獲得と強化のための変革期初年度」との位置づけであり、外部環境に左右されない社内体制整備を重視しておりますが、関連の各種取組みが概ね計画通りに進められていることから、落ち着いた四半期であったと評価しております。

このようなことから当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,994百万円となりました。海外での汎用品の出荷数量減や為替円高があった反面、高付加価値品の出荷確保が進んでおり、概ね計画通りの進捗となっております。なお、前連結会計年度は決算期変更の経過期間であり計算期間が異なることから、当第1四半期連結業績実績については前年同期との比較ができませんので、ご承知置きください。

収益面では、上記にもある高付加価値品の堅調な出荷と原価低減の推進により、厳しい状況の中利益を確保することができました。営業利益で776百万円、経常利益で732百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で475百万円をそれぞれ計上しております。

次に、セグメント別の状況ですが、日本地区での売上高(セグメント間取引消去額を含む。以下同じ。)は3,382百万円となり、セグメント利益(営業利益)は461百万円となっております。年初の停滞感からはっきりしない状況にありますが、高度な電子部品や自動車関連向け需要を取込みつつあり、今後の回復を期待しております。

日本を除くアジア地区ですが、中国経済の後退やそもそも営業日数が少ないことから低調な推移となりました。この地区での売上高は2,292百万円となり、セグメント利益は130百万円となっております。

欧米地区では需要の低迷が続いており、規模の回復が図れない状況となっております。北米地区の売上高は326百万円となり、セグメント利益は23百万円、欧州地区では順に292百万円、35百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は51,034百万円(前連結会計年度末比3,271百万円減)となりました。

流動資産合計は25,774百万円(同1,496百万円減)となりました。現金及び預金(同1,043百万円減)、受取手形及び売掛金(同334百万円減)、有価証券(同300百万円減)などが主な変動項目です。

固定資産合計は25,260百万円(同1,774百万円減)となっております。このうち、有形固定資産合計は18,308百万円(同293百万円減)となり、投資その他の資産合計は6,863百万円(同1,491百万円減)となっております。投資有価証券(同1,460百万円減)が主な変動項目となっております。

負債合計は3,024百万円(同1,003百万円減)となりました。流動負債合計は2,388百万円(同645百万円減)となりました。固定負債合計は636百万円(同357百万円減)となっております。

純資産合計は48,009百万円(同2,267百万円減)となりました。株主資本が45,748百万円(同567百万円減)となり、その他の包括利益累計額が2,261百万円(同1,700百万円減)となっております。主な変動項目は、その他有価証券評価差額金(同770百万円減)および為替換算調整勘定(同932百万円減)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

先行き不透明感が高く、市場を注意深く見ていかなければなりません。当連結会計年度の業績予想につきましては、平成28年2月12日公表の予想値を変更いたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,521,891	8,478,767
受取手形及び売掛金	6,897,330	6,562,619
有価証券	2,903,779	2,603,078
商品及び製品	4,037,887	3,976,333
仕掛品	1,006,824	981,784
原材料及び貯蔵品	2,169,401	2,102,160
その他	917,154	1,224,246
貸倒引当金	△183,288	△154,895
流動資産合計	27,270,981	25,774,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,988,434	4,863,177
機械装置及び運搬具（純額）	6,981,772	6,864,378
工具、器具及び備品（純額）	208,708	231,296
土地	5,839,870	5,803,701
建設仮勘定	583,259	546,440
有形固定資産合計	18,602,045	18,308,995
無形固定資産	78,290	88,183
投資その他の資産		
投資有価証券	8,179,885	6,719,440
その他	176,530	202,894
貸倒引当金	△1,949	△58,975
投資その他の資産合計	8,354,465	6,863,360
固定資産合計	27,034,801	25,260,538
資産合計	54,305,782	51,034,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	742,227	796,726
未払金	92,757	173,876
未払費用	677,045	564,444
未払法人税等	1,012,123	207,177
賞与引当金	342,905	530,425
その他	167,343	116,033
流動負債合計	3,034,403	2,388,683
固定負債		
長期未払金	239,008	222,208
繰延税金負債	382,015	31,188
退職給付に係る負債	370,765	380,912
その他	2,016	1,814
固定負債合計	993,806	636,123
負債合計	4,028,209	3,024,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,505	2,998,505
資本剰余金	3,020,652	3,020,652
利益剰余金	48,914,606	48,810,440
自己株式	△8,618,159	△9,081,001
株主資本合計	46,315,603	45,748,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,743,723	973,140
為替換算調整勘定	2,269,226	1,336,650
退職給付に係る調整累計額	△50,980	△48,560
その他の包括利益累計額合計	3,961,969	2,261,230
純資産合計	50,277,573	48,009,827
負債純資産合計	54,305,782	51,034,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	5,450,721	4,994,804
売上原価	3,376,315	3,128,212
売上総利益	2,074,406	1,866,592
販売費及び一般管理費	1,157,477	1,090,342
営業利益	916,928	776,249
営業外収益		
受取利息	17,334	13,424
受取配当金	22,844	—
固定資産賃貸料	13,743	10,521
スクラップ売却益	20,399	14,222
その他	28,224	7,736
営業外収益合計	102,545	45,904
営業外費用		
支払利息	38	19
売上割引	8,415	5,480
減価償却費	6,282	5,004
自己株式取得費用	742	832
為替差損	66,380	69,914
その他	6,226	8,461
営業外費用合計	88,086	89,712
経常利益	931,387	732,441
特別利益		
固定資産売却益	354	—
投資有価証券売却益	456,095	—
投資有価証券償還益	54,320	—
特別利益合計	510,770	—
税金等調整前四半期純利益	1,442,158	732,441
法人税、住民税及び事業税	580,942	226,536
法人税等調整額	△152,724	30,016
法人税等合計	428,217	256,553
四半期純利益	1,013,940	475,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013,940	475,888

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	1,013,940	475,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259,818	△770,583
為替換算調整勘定	1,501,344	△932,575
退職給付に係る調整額	△3,160	2,419
その他の包括利益合計	1,238,364	△1,700,739
四半期包括利益	2,252,305	△1,224,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,252,305	△1,224,850
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度末比567,007千円減少しております。利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の475,888千円の計上と剰余金の配当支払580,053千円により104,166千円減少したこと、平成28年2月12日付取締役会決議に基づく自己株式の取得による462,741千円の増加(平成28年2月15日から平成28年3月31日まで。176,900株取得。)によるものであります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,080,134	2,740,236	353,945	276,404	5,450,721	-	5,450,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,304,855	68,708	29	51	1,373,645	△1,373,645	-
計	3,384,990	2,808,945	353,975	276,455	6,824,366	△1,373,645	5,450,721
セグメント利益	512,406	308,070	17,040	31,254	868,772	48,156	916,928

(注) 1 セグメント利益の調整額48,156千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,127,834	2,247,810	326,339	292,820	4,994,804	-	4,994,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,255,073	44,572	-	-	1,299,645	△1,299,645	-
計	3,382,908	2,292,383	326,339	292,820	6,294,450	△1,299,645	4,994,804
セグメント利益	461,945	130,418	23,609	35,646	651,619	124,630	776,249

(注) 1 セグメント利益の調整額124,630千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別の状況

当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	4,415,918	578,886	4,994,804	—	4,994,804
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,553	19,553	△19,553	—
計	4,415,918	598,440	5,014,358	△19,553	4,994,804
営業利益	793,274	14,189	807,463	△31,213	776,249

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,578,922	316,670	292,820	39,176	3,227,589
II 連結売上高(千円)					4,994,804
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.6	6.3	5.9	0.8	64.6

(3) 為替換算レートと為替変動の影響試算額

		US \$	EUR	NT \$	RMB
前第1四半期連結累計期間	実績	120.55円	146.54円	3.80円	19.35円
当第1四半期連結累計期間	実績	112.68	127.70	3.49	17.39
平成28年12月期(見込み)	計画	115.00	125.00	3.50	17.50

(注)1. 対US \$ 1円の円安による影響額：年間の連結売上高が115百万円増加
年間の連結営業利益が7百万円増加

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であるため、前連結会計年度と当連結会計年度の対象期間が異なっております。

(4) 設備投資、減価償却費および研究開発費の状況

	設備投資	減価償却費	研究開発費
前第1四半期連結累計期間	363百万円	574百万円	301百万円
当第1四半期連結累計期間	614	539	296
前連結会計年度	1,968	2,731	1,463
当連結会計年度(計画)	4,732	2,328	1,504

(注)前連結会計年度は決算期変更の経過期間であるため、前連会計年度と当連結会計年度の対象期間が異なっております。